

[2020 年度事業報告書]

自 2020 年 4 月 1 日

至 2021 年 3 月 31 日

2021 年 6 月 10 日（木）

一般社団法人サステナブル経営推進機構

目次

役員一覧

2020 年度組織図

1 経営企画部門	1
1-1 役員及び会員管理業務	1
1-2 会員活動	3
1-3 企画広報事業	7
1-4 人事業務	8
1-5 福利厚生・安全衛生業務	9
1-6 情報システム管理	9
1-7 事務所環境の整備	9
2 コンサルティング事業部	10
2-1 地域産業振興に資するコンサルティング事業	10
(1) 地域づくりモデル形成事業調査検討事業	10
(2) 中部地域における循環経済の実現に関する調査・検討事業	10
2-2 政策プロジェクトマネジメント業務	11
(1) セルロースナノファイバー活用製品の普及拡大事業等	11
(2) LCA 関連事業	11
(3) 農林水産分野における脱炭素化推進事業	12
3 LCA 事業部	13
3-1 LCA 事業室	13
3-2 環境ラベル事業室	13

一般社団法人サステナブル経営推進機構

第1期 役員一覧

(任期：2019年10月1日から2021年3月31日以降の最初の通常総会まで)

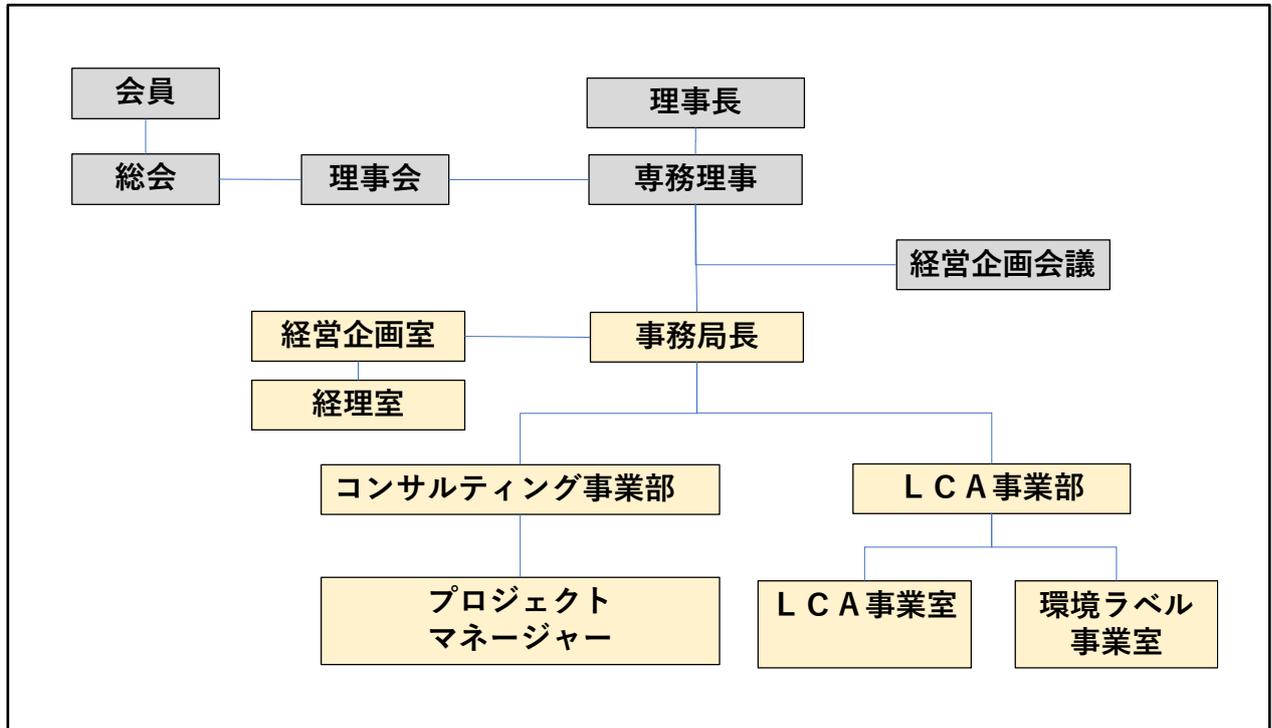
理事・監事

8名（理事長1名、専務理事1名、理事5名、監事1名 2021年6月10日時点） 五十音順 敬称略

	氏名	団体名	役職
理事長 (代表理事)	石田 秀輝	東北大学 (合)地球村研究室	名誉教授 代表社員
専務理事 兼 事務局長 (代表理事)	壁谷 武久	(一社)サステナブル経営推進機構	専務理事
理事	石塚 勝一	石塚化学産業株式会社	代表取締役社長
	川瀬 泰人	リファインホールディングス株式会社	代表取締役社長
	高橋 一彰	株式会社 industria	代表取締役
	西尾 チヅル	筑波大学	ビジネスサイエンス系教授
	平野 二十四	株式会社タイボー	代表取締役社長
監事	小山 志津夫	元(一社)産業環境管理協会	元企画参与 兼 総務部部門長

一般社団法人サステナブル経営推進機構

2020 年度 組織図



1 経営企画部門

経営企画部門の事業活動は、一般社団法人サステナブル経営推進機構 2020 年度事業運営計画に基づき、以下のとおり実施した。

1-1 役員及び会員管理業務

(1) 総会

1) 2020 年度 定時総会

開催日時：2020 年 6 月 11 日(木) 17：30～18：00

開催場所：東京都千代田区鍛冶町 2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル

開催方法：オンライン開催

出席者：社員総数 25 名のうち社員数 24 名（出席者数 21 名、表決委任者数 3 名）、監事 1 名

決議事項：第 1 号議案 2019 年度事業報告について

第 2 号議案 2020 年度事業計画（案）について

第 3 号議案 定款の改定について協議事項 新法人の定款案について

(2) 理事会

1) 臨時理事会

開催日時：2020 年 4 月 23 日(木) 13：30～14：00

開催方法：オンライン会議

出席者：理事 7 名

議題：第 1 号議案 新型コロナウイルス感染防止策対応方針への対応にかかる一時金の支給について

2) 第 1 回定時理事会

開催日時：2020 年 6 月 11 日(木)

開催方法：オンライン開催

出席者：理事 7 名、監事 1 名

概要：第 1 号議案 2019 年度事業報告（案）について

第 2 号議案 2020 年度事業計画（案）について

第 3 号議案 定款の改定（案）について

第 4 号議案 規程等の改定（案）について

3) 第 2 回定時理事会

開催日時：2020 年 10 月 16 日（金）

開催方法：メール決議（電磁的記録による決議）

出席者：理事7名、監事1名

概要：第1号議案 SuMPO 会員推薦による新規入会者の紹介依頼

4) 第3回臨時理事会

開催日時：2020年10月28日（水）

開催方法：メール報告

出席者：理事7名、監事1名

概要：報告事項 SuMPO 無機・有機複合マテリアル協会の新規設立及び入会について

5) 第4回臨時理事会

開催日時：2020年11月10日（火）

開催方法：メール決議（電磁的記録による決議）

出席者：理事7名、監事1名

概要：決議事項 日本政策金融公庫からの長期借入実行の件について

6) 第5回臨時理事会

開催日時：2021年1月21日（木）

開催方法：メール決議（電磁的記録による決議）

出席者：理事7名、監事1名

概要：決議事項 日本政策金融公庫からの長期借入実行の件について

7) 第6回定時理事会（予算理事会）

開催日時：2021年3月11日（木）16：00～17：00

出席者：18名（理事3名、監事1名、来賓1名、事務局関係者：13名）

概要：第1号議案 2021年度事業計画及び収支予算（案）について

参考：2020年度事業実績及び収支決算の見通し

第2号議案 組織規約類の改定について

報告事項 2021年会員活動について

8) 第7回臨時理事会

開催日時：2021年3月25日（木）

開催方法：メール決議（電磁的記録による決議）

出席者：理事7名、監事1名

概要：第1号議案 就業規則の改定（案）について

第2号議案 受託単価規定の改定（案）について

1-2 会員活動

(1) 2020 年度会員数

一般社団法人サステナブル経営推進機構の2020年度末(2021年度3月31日)時点の会員数は以下のとおりであった。

2020 年度の会員数

年月	会員	会員総数	正会員	賛助会員
2021年3月		52社・団体	38社	14団体

(2) 会員活動内容

一般社団法人サステナブル経営推進機構2020年度事業運営計画書に基づき、以下の会員活動を実施した。全国の会員の経営者・役員の方々に対して情報発信を行い、会員ニーズに合ったサービス活動を実施した。

1) 総会記念講演

開催日時：2020年6月11日(木) 16:00~17:00

開催場所：東京都千代田区鍛冶町2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル

開催方法：オンライン開催

内 容：

記念講演 「EU 発、新たなサーキュラーエコノミー行動計画を学ぶ！！
ーコロナ後の新しい経済のかたちー」

公益財団法人日本生産性本部 センター長 喜多川 和典 氏

意見交換 「CE 戦略に挑む サステナブル経営と LCA」

ファシリテータ 専務理事 壁谷武久

公益財団法人日本生産性本部 センター長 喜多川 和典 氏

SuMPO LCA 事業部長 神崎 昌之

SuMPO LCA 事業室長主任研究員 山岸 健

2) 心豊かな未来ビジネスシンポ

「サステナブル経営」について思考し、計画し、実行するための会員同士の自由な語り合いの場。共感する新たなプレイヤーの発掘を目的として2回開催した。

2-1) 1 回目開催

開催日時：2020年8月18日(火) 14:00~17:00

開催場所：東京都千代田区鍛冶町2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル

開催方法：オンライン開催

内 容：基調講演：「コロナ禍に学ぶ2030年の心豊かな暮らし方のか・た・ちを考える」

SuMPO 理事長 石田 秀輝

招待講演：「SDGs がもたらす未来ビジネス」

株式会社 TREE 代表取締役 水野 雅弘 氏

パネルディスカッション：「サステナブル経営で描く新しい経済の形」

ファシリテータ SuMPO 専務理事 壁谷 武久

パネラー：

- ・株式会社カヌチャベリゾート代表取締役社長 白石 武博 氏
『おもてなしの心を軸に、柔軟かつ自由な発想で、沖縄、人、笑顔、未来を結ぶ』
- ・株式会社 industria 代表取締役 高橋 一彰 氏
『サステナブルウォーターの創る未来ビジネス』
- ・株式会社 TREE 代表取締役 水野 雅弘 氏
- ・SuMPO 理事長 石田 秀輝

2-2) 2 回目開催

開催日時：2020 年 11 月 26 日(木)14:00~17:00

開催場所：東京都千代田区鍛冶町 2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル

開催方法：オンライン開催

内 容：基調講演：「尖った企業集団で ESG、CE 時代をかく戦う」

SuMPO 専務理事 壁谷 武久

招待講演：「ESG 思考で ESG、CE 時代を読み解く」

株式会社ニューラル 代表取締役 CEO 夫馬賢治 氏

パネルディスカッション：「サステナブル経営で ESG、CE 時代を駆け抜ける」

ファシリテータ SuMPO 理事長 石田 秀輝

パネラー：

- ・株式会社カヌチャベリゾート代表取締役社長 白石 武博 氏
- ・株式会社 神戸酒心館 代表取締役社長 安福 武之助 氏
『自然と人を見つめるサステナブルな酒造り』
- ・リファインホールディングス株式会社 代表取締役社長 川瀬 泰人 氏
『サステナブル社会へ向けて「資源」「環境」「こころ」のリファイン』
- ・株式会社ニューラル 代表取締役 CEO 夫馬 賢治 氏
- ・SuMPO 専務理事 壁谷 武久

3) 記念講演

開催日時：2019 年 10 月 1 日 (火) 16:00~17:30

開催場所：Casual Restaurant & Bar 30's

東京都千代田区鍛冶町 1-4-3 神田ステーションホテル

内 容：第 1 部 開所式

挨拶 SuMPO 専務理事 壁谷 武久

来賓挨拶 東京農工大学 名誉教授農学博士 服部 順昭 氏
乾 杯 SuMPO 理事 石塚勝一氏
理事・会員挨拶 高橋一彰氏、石和田順氏、安藤裕之氏、竹内光男氏、矢野涼子氏
1年間を振り返ってのコメント 神崎昌之部長、小林弘幸部長
理事長挨拶 SuMPO 理事長 石田 秀輝
閉会挨拶 SuMPO 理事 川瀬泰人氏

4)神田塾

持続可能なビジネスや社会づくりを目指し、地域企業の経営者層を対象とした学び、交流の場としての「神田塾」を3回開催した。また、オンライン会議システムを活用し、会員企業の活動や事業展開についてリレー形式で発表いただき、今後のイノベーションに向けて情報交換を行う「オンライン神田塾（番外編）」を10回開催した。

4-1)「神田塾」番外編（3回）

開催日時：2020年7月20日（月）17：30-18：30

開催場所：東京都千代田区鍛冶町2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル

開催方法：オンライン開催

内 容：ゲストスピーカーによる講演

「積水化学グループのSDGs時代の企業戦略 ～環境課題への取り組みへの反映～」

積水化学工業株式会社 ESG 経営推進部担当部長 三浦仁美 氏

トークセッション「サステナブル経営で未来を拓く」

積水化学工業株式会社 ESG 経営推進部担当部長 三浦仁美 氏

SuMPO 専務理事 壁谷武久

開催日時：2020年9月9日（水）15：30-17：00

開催場所：東京都千代田区鍛冶町2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル

開催方法：オンライン開催

内 容：コーディネータ SuMPO 専務理事 壁谷武久

第1部 ゲストスピーカーによる講演

「社会的共通資本と持続可能な未来創り」

宇沢国際学館代表取締役 占部まり 氏

第2部 トークセッション「地域医療・福祉の未来図（分身ロボット“OriHime”と共に）」

宇沢国際学館 代表取締役 占部 まり氏

any global 合同会社 代表 矢野 涼子氏

SuMPO 理事長 石田 秀輝

開催日時：2021年3月11日（木）16：00～17：00

開催場所：東京都千代田区鍛冶町2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル

開催方法：オンライン開催

内 容：第1部 ゲストスピーカーによる講演

「資本主義の新しい形について」

京都大学大学院経済学研究科教授 諸富 徹氏

第2部 オンライン交流会

4-2)オンライン「神田塾」番外編（10回）

4月27日（月）13:30～14:30	第1回 METI 補助金
5月13日（水）17:00～19:00	第2回 筑波大学 西尾先生マーケティング
6月16日 16:00～17:00	第3回 SuMPO「壁さんのサステナビリティ漫談」
5月21日（木）17:00～19:00	第4回 カヌチャベイリゾート
5月26日 16:00～17:00	第5回 近江物産
6月2日（火）17:00～19:00	第6回 アルファフォーラム
3月11日（木）17:30～19:00	第7回 SuMPO_壁谷専務_サステナビリティ漫談
8月25日（火）16:00～17:00	第8回 株式会社グレイス
8月25日（火）16:00～17:00	第9回 佐藤金属
9月29日（火）16:00～17:00	第10回 サラヤ株式会社

6)会員交流活動

会員相互の共感機会の創出とスタッフの交流を目的とし、以下の活動を行った。

6-1)沖永良部合宿

開催期間：2020年10月16日（金）～10月17日（土）

開催場所：沖永良部（おきのえらぶ島観光協会 研修施設エラブココ）

内 容：第1日目 10月16日（金）

研修プログラム『サステナブル経営の原点を考える』

石田理事長レクチャー「バックキャスト思考を学ぶ」

島民の方との交流を予定

第2日目 10月17日（土）

現地視察

合宿の振り返り

自由行動

第3日目 10月18日（日）

レクリエーション、現地解散

開催日時：2020年10月30日（金）沖永良部合宿報告会を開催

6-2) 賀詞交換会

開催日時：2021年1月21日（木）16：00分～18：00

開催場所：東京都千代田区鍛冶町 2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル

開催方法：オンライン開催

内 容：新年のご挨拶と新春講演

「心豊かな未来のための新しいライフスタイルの創造」 SuMPO 理事長 石田秀輝

「SuMPO2021 に向けて」発表 SuMPO 専務理事 壁谷武久

来賓からのご挨拶 産業環境管理協会専務理事 黒岩進氏

乾杯のご挨拶

役員紹介と一言メッセージ

会員紹介と一言メッセージ

1-3 企画広報事業

(1) 広報事業の強化

的確かつ効果的・効率的に広報を行うため、自組織の特徴を踏まえ、どのように広報活動を進めるかについて、広報チームにて知識、技術の強化を図り、オンラインセミナー用コンテンツの作成・運用等の実施を行う。

(2) 展示会、イベント等企画・運營業務

日本経済新聞社との共催で第 22 回目となるエコプロ 2020 を主催する。展示会全体の運営管理を行う主催業務に加えて、国等からの受託事業に係わる展示ブースの企画運営を行い、サステナブル経営推進支援に係わる情報発信を行う。

また、自主事業としてサステナブル経営推進に資する表彰制度エコプロアワード 2020 を企画し実施する。

(3) 新事業創出支援事業

1) サステナブル経営推進プログラム事業

2020 年度は、サステナブルビジネスの創出を支援する「サステナブル経営推進プログラム事業」を実施するとともに、地域産業の事業者間連携、市場開拓等の事業を実施する。サステナブル経営／ビジネスモデル開発、ビジネスプラン実行に向けた開発プログラムを、専門人材による個別支援と併せて活用することによる経営ツールの開発と普及を図る。

2) 政策提案力の強化

省庁等の委員会参画・受託実績を通じた、温暖化対策、資源循環をはじめとする持続可能性に関する政策提案力の強化のため、今後の経済・社会情勢の変化なども踏まえながら的確な政策提案プロセスの内部検討会等を開催し政策提案力の強化を図る。

1-4 人事業務

(1) 働き方改革 「SuMPO ワークライフバランス (WLB) アクションプラン」

職場のパワーハラスメント等は、職場全体の生産性や意欲の低下など周りの人への影響や、企業イメージの悪化などを通じて経営上大きな損失につながる。法令順守と共に、社会的規範や企業倫理を順守し、企業の社会的責任を果たす事が求められている。

SuMPO では、政府の「時間外労働の上限規制等に関する労使合意」を踏まえて策定された「働き方改革実行計画」に基づき、「非正規雇用の処遇改善」「賃金引上げと労働生産性向上」「長時間労働の是正」「柔軟な働き方がしやすい環境整備」などの9つの分野について具体的な方向性を検討するため、全職員に対して、働き方改革アンケート調査を実施し、その結果から対応課題の抽出と優先課題を選定して、3月13日に「SuMPO ワークライフバランス (WLB) アクションプラン」を策定・公表した。

SuMPO ワークライフバランス (WLB) アクションプラン (概要)

目標	対策
目標①：時間外労働の撲滅	・ 組織体制の見直しと人材補強 ・ 新賃金・評価制度の導入 (処遇改善とマネジメント力の強化) ・ 業務・工数管理の徹底
目標②：ワークライフバランスの維持・向上に資する就業環境の改善	・ フレックスタイム制度の導入 ・ テレワーク (在宅、その他) の導入
目標③：互いに苦楽を共有し、理解しあえる職場風土を醸成する	・ 社内レビューの活性化・プロジェクト型執行体制の導入

本プランに基づき、2020年4月から2023年3月までの3年間を計画期間として、以下の取り組みを重点に行い、会員をはじめ取引先や従業員等のステークホルダーとの適切な協働を図りながら、透明・公正で効率的な経営に取り組むこととした。

(2) ステークホルダーミーティング

今後、3カ年の中期ビジョンを確実に実現し SuMPO の志 (経営理念) を具体化していくためには、現在の取り組みを経て得た知見、ノウハウ等の業を新たな自主事業開発につなげていくことが重要である。このため、外部から有識者等をお招きして、SuMPO の取組みをつぶさにご報告するとともに、経営理念の実現との観点から客観的に検証する場を設け、示唆いただいたご意見等を次のステップに活かすことを目的に「SuMPO ステークホルダーミーティング」を開催する。

(3) 人材育成研修事業

一般社団法人として活動するにあたり、コンプライアンス意識に基づいた社会人としての行動のための研修及び、管理監督者として必要な知識・役割・マネジメント能力等の習得を図る研修を行う。

1-5 福利厚生・安全衛生業務

(1) 新型コロナウイルス感染防止策対応一時金の支給

4月7日に発出された新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言を受けて策定した「SuMPO 新型コロナウイルス感染防止策対応方針」に従い、原則自宅勤務を命じたことに伴い発生する心身のケア、家庭での業務環境づくりを支援するための一時金を支給することとする。
(4月23日臨時理事会にて決議。)

(2) 事務所環境の整備

新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言は、5月25日首都圏の解除となった。しかし、第2波、第3波の予想がなされるなど、収束には長期間要する可能性がある。そこで、事務所内においても「3密」をはじめとした各種感染症防止のための行動を遵守し、必要な環境整備も講じ、「コロナ時代の新しい生活様式」及び「働き方の新しいスタイル」の定着を図っていく。

1-6 情報システム管理

一般社団法人サステナブル経営推進機構では、組織全体の情報システム機能（ヒト・モノ・カネ・情報）を集約し、情報セキュリティ基本方針の策定及び情報セキュリティ管理規程を策定して、情報システム全般の統合管理を推し進めるための組織管理体制及び情報管理システムを構築した。

情報セキュリティ基本方針及び情報セキュリティ管理規程の構成

情報セキュリティ基本方針	情報セキュリティ管理規程
1. 情報セキュリティ管理への取り組み	・ 情報セキュリティ基本方針の公開
2. 情報資産の保護	・ 情報セキュリティに関する統管理体制の構築
3. 法令等の遵守	・ 教育の実施
4. 教育・訓練	・ 情報セキュリティ監査
5. 事故防止と対応	

1-7 事務所環境の整備

10月は、事務所の開所に向けて、パソコンやプリンター、机・椅子、書架等の共通備品類の購入から電話配線工事、サーバー情報システム、情報セキュリティシステムの導入、事務所オフィスの看板の設置等までを行った。

2 コンサルティング事業部

コンサルティング事業部は、環境・エネルギーを軸とした持続型の地域経済社会づくり及びその経済活動の中心となる企業等へのコンサルティング事業や、国等のプロジェクト型事業のマネジメント業務を実施した。

2-1 地域産業振興に資するコンサルティング事業

地力型地域循環経済社会づくりを理念として、国及び自治体等からの受託により、地域環境ビジネスに関する基礎調査、地域経済循環の仕組みづくりに資するエネルギー需給調査、地域振興計画等の策定、事業化可能性等に係わる調査・研究及びCO₂排出量の算定等の事業を実施した。また、こうした事業を通じて、地域の個別企業の経営課題を見出し、地域産業振興に資するコンサルティング事業を行った。

(1) 地域づくりモデル形成事業調査検討事業

日本総合研究所が事業代表機関、サステナブル経営推進機構が共同実施機関、デロイトトーマツコンサルティング社が外注機関となり、3機関の共同事業体制で、環境省令和2年度「地域の多様な課題に応える脱炭素型地域づくりモデル形成事業」に係る調査・検討委託業務を受託して、地域循環共生圏の構築を進める地域の取組を横断的・体系的に整理、分析し、地域の取組をモデル事業として全国への普及・展開を図る業務を実施した。

サステナブル経営推進機構は、全国43事業（42地域）を対象に、「地域の取組の進捗確認および取組を進める中で生じる課題に対する助言」業務および「地域の取組に関する情報交換会と地域の取組について専門的知見を有する有識者会議の実施」業務を担当した。

(2) 中部地域における循環経済の実現に関する調査・検討事業

経済産業省中部経済産業局より「中部地域における循環経済（サーキュラーエコノミー（CE）の実現に関する実態調査および検討」事業を受託し、中部地域を中心とした資源の有効利用の先進事例調査として産業分野別に事業者へのヒアリング調査を実施した。

本事業では、先進事例に関するヒアリングをもとに、研究者・研究機関・中部地域の中核的事業者の代表から構成されるアドバイザリーボードを設置して、中部地域の強みや特性を活かした動静脈連携の促進に必要となる対応策について検討を行うとともに、循環経済のモデルプロジェクトに関する提案を行った。

- ・事業者ヒアリング（および取纏め）：19事業者（中部地域：12事業者、中部地域外：7事業者）
- ・アドバイザリーボードの実施：2回（および個別意見照会の実施）
- ・モデルプロジェクトの提案：6案件（うち、3案件について、具体的事業計画案作成）

2-2 政策プロジェクトマネジメント業務

国及び自治体等からの受託による研究開発、社会実装等の国家プロジェクトに関する事業マネジメント及び政策検討に資する調査業務を行った。

(1) セルロースナノファイバー活用製品の普及拡大事業等

京都大学を事業代表機関とし、サステナブル経営推進機構および京都市産業技術研究所が共同実施者となり、「令和2年度 環境省セルロースナノファイバー（以下、CNF）適用部材拡大のための課題解決支援業務委託事業（NCM 事業）」を実施した。本事業では、CNFの利活用ニーズの掘り起こしと、社会実装に必要な技術や知見を集結させた情報交換とマッチングの場を提供し、CNF適用部材拡大のための課題解決支援および社会実装の促進業務を実施した。サステナブル経営推進機構は、CNF活用製品の試作品に対する課題解決の取組結果とLCCO₂削減効果の検証と取り纏め、および、環境省委託事業成果物の展示を含む情報交換会の実施を担当した。

エックス都市研究所を事業代表機関とし、サステナブル経営推進機構およびデロイトトーマツコンサルティングが共同実施者となり、「令和2年度 環境省セルロースナノファイバー活用ガイドライン作成事業委託業務」を実施し、CNF利活用に関する包括的かつ実践的なガイドライン作成、各種製造時CO₂排出原単位作成、CNFの最新の社会実装状況調査を実施した。サステナブル経営推進機構は、国内のCNF及びCNF二次製品のLCCO₂の客観的評価及び将来の量産時のLCCO₂の推定、および、有識者会議LCA分科会を設置・運営を担当した。

(2) LCA 関連事業

環境省における、水素利活用、バイオプラ、ケミカルリサイクル、人工光合成、およびネガティブエミッション技術等の革新技术領域におけるLCAを用いたCO₂削減効果等7件の分析評価事業、および、サプライチェーンにおける温室効果ガス排出量（Scope1～3）の算定基盤の整備等の調査・検討事業を実施した（いずれも再委託）。

経済産業省における、LCAに関わる国際動向調査事業として、欧州環境フットプリント対応及び諸外国のラベリングプログラム等に関する調査を実施した（再委託）。また、自動車等の抜本的な軽量化に向けた技術開発の推進を図る新構造材料技術研究組合（ISMA）のNEDO委託事業の一環として材料リサイクルに関わるインベントリデータの整備業務を実施した（外注）。

農林水産省における令和2年度林業イノベーション推進総合対策の一環で、スギ微粉碎木粉を利用した樹脂量削減素材の開発業務のうち、LCA解析業務を実施した（再委託）。

低CO₂川崎ブランド等推進協議会が運営する、「低CO₂川崎ブランド」及び「川崎メカニズム認証制度」の事業者支援およびデータ検証の業務を受託し、実施した。

(3) 農林水産分野における脱炭素化推進事業

農林水産省より、「令和2年度脱炭素型フードサプライチェーン可視化（見える化）推進委託事業」を受託し、フードサプライチェーンにおける脱炭素化の実践とその可視化のあり方等を検討するための有識者による公開型検討会の設置・運営、TCFD提言に基づく農林水産分野における情報開示の手引書作成、各種脱炭素化技術の定量化に関する調査、カーボンフットプリント制度のPCRの改善に向けた食品事業者のニーズ等調査を実施した。

3 LCA 事業部

LCA 事業部では、これまでに培った LCA とその実施基盤を発展・応用した産業界向けのコンサルティング事業等を実施した。

3-1 LCA 事業室

LCA 事業室では、製品の一生を通じた環境影響を定量評価し、サステナビリティが求められるイノベーションな新技術について研究・技術開発段階から社会実装までを想定したサステナビリティ/環境負荷削減への貢献量の評価を行う事業を実施した。

(1) LCI データベース (IDEA) 及び LCA 算定ツール (MiLCA) の提供販売

LCA の導入実施にあたり、簡易でわかりやすく LCA 調査結果を得ることができるデータベースやソフトウェアを開発・提供販売した (販売実績: 105 件)。

(2) LCA 算定支援事業

顧客の LCA 実施体制構築支援や日常的な LCA 実施上の技術相談、顧客の LCA 調査結果の分析、評価指標づくりや課題解決提案等を実施した (コンサルティング事業実績: 素材、自動車、エネルギー、食品・日用品等 22 件)。

(3) LCA 報告書のレビュー事業

市場や投資におけるニーズの高まりを背景として、企業が自身の製品・組織の定量的な環境影響評価の結果を開示するにあたり信頼性を担保するために、国際規格である ISO14040 シリーズ (LCA) に基づいた LCA 報告書のレビューを実施している。信頼性担保のレベルに応じて複数のサービスを提供した (クリティカルレビュー実績: 1 件、LCA 報告書チェック: 2 件)。

3-2 環境ラベル事業室

環境ラベル事業室では、ISO14025 に準拠したタイプ III の環境ラベルプログラムを運用しており、多様な環境影響を開示する「エコリーフ」と CO2 による地球温暖化のみを開示する「カーボンフットプリント」の 2 種類とそれに基づくコミュニケーションの推進を実施した。

2050 年脱炭素の宣言以来、「算定ロジック・結果のお墨付きがほしい」、「新事業の立ち上げにカーボンニュートラルを使いたい」等の環境ラベルプログラムへの問い合わせが急増し、エコリーフ登録数は、新規企業が増加し、プログラム運営による売り上げが前年度比 35% 増となった。

年度内に委員を刷新しアドバイザーボードを開催。環境ラベルによる ESG 対応や、料金プランの多様化、取得作業負荷の軽減、社会への普及拡大、海外の環境ラベルプログラムとの相互認証などの要望を多数いただいた。

【登録公開情報】

エコリーフ

- ・PCR認定数統合 30 件、従来 86 件
- ・宣言登録累計数 2,391 件（現在公開数 1,169 件）
- ・公開企業累計数 93 社

カーボンフットプリント（CFP）

- ・CR認定数統合 30 件、従来 107 件
- ・言登録累計数 1,817 件（現在公開数 787 件）
- ・登録企業累計数 212 社

。

2021 年度 定時総会 [2020 年度事業報告書] (2021 年 6 月 10 日発行)

一般社団法人サステナブル経営推進機構

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル

TEL : 03-6672-3948 URL : <https://SuMPO.or.jp>